

令和8年度 向南幼稚園入園案内

幼児の健やかな成長のためには、確かな安全性と十分な保護のもと、発達段階に適した生活を送ることが何よりも大切です。向南幼稚園は、遊びを通して伸びやかに日々を過ごし、集団の中で社会性と自主性を育みます。令和8年度は創立77周年にあたります。ゆとりある環境と保育体制を活かし、質の高い保育を行なってまいります。

【募集要項】

◆ 募集人数

年少組 2022年（令和4年）4月2日～2023年（令和5年）4月1日生・・・90名

年中組 2021年（令和3年）4月2日～2022年（令和4年）4月1日生・・・若干名

年長組 2020年（令和2年）4月2日～2021年（令和3年）4月1日生・・・20名

◆ 入園願書受付…令和7年11月1日（土）午前9時から午前11時まで

- ・入園願書に面接料3,000円を添えて受付にご提出ください。
- ・『預かり保育定期利用』を希望される方は申込書もご提出ください。
- ・順番は選考に一切関係しません。近隣のご迷惑になりますので、正門前に並ぶことはおやめください。8時50分に開門します。

◆ 考査（面接）…令和7年11月1日（土）午前11時から午後4時頃まで

- ・入園願書受付の際、詳しい時間をお知らせいたします。
- ・考査のために来園される保護者の方はお二人まででお願いいたします。

〈持ち物・その他〉

- ・保護者、お子さんの室内履き（お子さんにはかかとのある物）
- ・お子さんは動きやすい服装でお越しください。
- ・時間にいらっしゃれない場合は必ずご連絡をお願いいたします。
- ・特別の事情がない限り、普段一緒にいることの多い保護者の方がいらしてください。お子さんに緊張感をもたせず、楽しい気持ちで受けていただくのが一番です。

◆ 結果通知………令和7年11月1日（土）発送 ※申込者多数の場合は2日（日）

申込者数が定員内の場合は、考査終了時に口頭でお伝えできることもございます。

【園の概要】

◆ 保育時間

- ・月、火、木、金 8：45～14：00（通常保育）／水 8：45～11：30（午前保育）
- ・土曜日、日曜日は休園です。ただし土曜日または日曜日に行事を行うことがあります。
- ・年少組は、入園後しばらくは午前保育を行い、園生活に慣れていけるようにします。

◆ 昼食

- ・水曜日以外はお弁当を持たせてください。
- ・月、火、金は給食センター富貴の希望制の給食があります。（令和8年度は1食税抜き350円予定）

◆ 登園、降園

- ・登園は、保護者の方にお連れいただきます。
- ・降園は、コースに分かれ保育者が引率して解散場所まで歩いて帰ります。（夏、雨天等は中止）
- ・徒歩または自転車での送迎をお願いいたします。車はご遠慮ください。

◆ 学級職員編成（令和年10月現在）

	クラス	在籍数	担任	フリー
年少組 (3歳児)	もも	28	2	3
	たんぽぽ	28	2	
	ちゅうりっぷ	27	2	
年中組 (4歳児)	あやめ	22	2	2
	すみれ	22	2	
	うめ	22	2	
年長組 (5歳児)	ばら	30	1	3
	ひまわり	30	1	
	ゆり	29	1	
全体フリー	1			

クラス	在籍数	職員
きのみクラブ (2歳児週1親子プレ)	46	3 兼任1
ちぐさルーム (1, 2歳児長時間保育)	15	5
子ども誰でも通園 (つくしクラブ)	17	3 兼任3

その他の職員	
園長	1
事務	1
預かり保育	6 兼任4
看護師	1
臨床発達心理士 非常勤	1

※フリー職員は子ども達やクラスの様子を見ながら園全体の保育を担当しています。

◆ 父母会活動等

- ・月 500 円の会費は、クラス費、父母の会主催のおもちつき、観劇、卒園アルバム代等として父母の会役員で予算案を作成し、子ども達に還元される形で使っていただいております。
- ・父母の会役員（4名）は基本的に園からご依頼します。クラス係（各クラス2名）はアプリのアンケートで可否をうかがいます。その他の行事手伝い等への参加もご任意です。

◆ 連絡方法

- ・欠席等の受付、園からのおたより配信、一斉連絡等は『れんらくアプリ』を使用しています。

【 費 用 】

- ・「約」と記載の費用は令和 7 年度実績を元にしてしています。費用は変更になることがあります。
- ・下記以外の施設費、学園への寄付金等は徴収いたしません。
- ・課外教室を利用される方は別途費用が発生いたします。
- ・基本的に補助金は半年毎の償還払いで支給されます。

◆ ご入園に際して

	年少組（3 歳児）	年中組（4 歳児）	年長組（5 歳児）
① 入園料	120,000 円	100,000 円	70,000 円
② 新年度用品	約 8,000 円	約 2,500 円	約 4,000 円
③ 制服類	約 28,000 円	約 28,000 円	約 28,000 円

**50,000 円
補助対象**

① 入園料

- ・入園考査の結果発表の郵送物に記載の園指定の銀行口座にお振込みください。入園料に対しては練馬区より補助金が支給されます。令和 7 年度の練馬区私立幼稚園入園児保護者補助金は 50,000 円（預かり保育定期利用児 60,000 円）でした。
- ・入園前に転居や転勤等で入園を辞退される場合は、移動の証明となる住民票や会社の証明等をご提出いただき入園料を返金いたします。その他の理由での返金はいたしかねます。

② 新年度用品

- ・はさみ、粘土、クレパス等。入園後、4 月の保育料と共に引落しをさせていただきます。

③ 制服類

- ・約 30,000 円。冬夏制服（登降園時のみ着用）、運動着、リュック等。きょうだいやお知り合いからいただいても構いません。来園にて採寸（11 月上旬）→各自ネット注文→業者より郵送。

◆ 毎月の学費

	年少組（3 歳児）	年中組（4 歳児）	年長組（5 歳児）
④ 保育料	33,000 円	32,000 円	31,000 円
⑤ 誕生会費	200 円		
⑥ 絵本代	約 500 円（学年ごと別料金）		
⑦ 父母会費	500 円		
⑧ 給食費	利用回数により（1 食 360 円）		
⑨ 預かり保育料	利用回数により		

全額無償化

**補助対象
（上限あり）**

**補助対象
（上限あり）**

④ 保育料

- ・練馬区では私立幼稚園の保育料について、国の補助額 25,700 円に加えて、都からの補助額 1,800 円、さらに練馬区独自の補助金 9,400 円を加えた合計 36,900 円を上限として無償化されます。つまり、本園の保育料は全額無償化されます。

- ⑤ 誕生会費
⑥ 絵本代
⑦ 父母会費
- } 全ての方に実質的に月々のご負担いただく費用（令和年度は全学年 1200 円前後）

⑧ 給食費

- ・235 円×注文した日数分が、練馬区より副食費補助として支給されます。

例：月に 10 回給食を注文した場合 給食費 3600 円－補助金 2350 円＝**実質負担 1,250 円**

⑨ 預かり保育料

- ・新 2 号認定を受けられた場合、国と練馬区の補助金で、月額最大 15,000 円まで支給されます。詳しい算出方法は練馬区 HP の『預かり保育補助金の支給額算出方法』等でご確認ください。
- ・新 2 号認定は園を通して書式をお渡しし、区役所に提出していただきます。就労を理由とする場合、月 12 日以上、かつ 1 日 4 時間以上が練馬区の認定の基準となっています。

【預かり保育】※別紙参照

【課外教室】

向南幼稚園では、様々な課外教室で保育後の時間をサポートしています。
預かり保育の利用中も通うことが可能です。

曜日	教室	時間	指導料（月謝）
月	リトミック	年少 14:00～15:00 年中 15:00～16:00 年長 16:00～17:00	5,500 円
火	体操	年中 14:15～15:15 年長 15:15～16:15	7,480 円
	英語	14:00～15:00	5,500 円
	ピアノ	14:00～14:45 ※コースにより異なります。	5,000 円～
木	絵画	幼児の部 14:00～15:00 小学生の部 15:45～17:00	5,000 円

楽しくなければ 幼稚園じゃない

向南幼稚園は こんな幼稚園です

～ この幼稚園で 大切にしていること ～

向南幼稚園は、76年前の設立時から一貫して子どもの幸せを第一に考え続けています。幼児期の楽しさと自信に満ちた経験が、人生に渡って大切な『自分で自分を幸せにしていく力』の源となります。信頼できる大人の体温や見守りの中で自己を発揮し、心身共に健やかに成長、発達させていきたいと思います。

～ 日本で最も古い私立美術学校と、高等学校から出発しました ～

向南学園の源流は、108年前の大正6年に開校した私立の美術学校としては最古の「日本美術学校」と、日本で初めて美術専攻科を設けた「向南高等学校」にあります。このユニークな高等学校は第二次大戦の爆撃で校舎の半分以上を焼失し後に閉鎖され、美術学校は後に埼玉県大宮市に移転し経営母体も変わりましたが、創作の原点である手づくりの精神は、今も向南学園に脈々と受け継がれています。

～ この幼稚園は “子ども達に幸せな幼児期を” という

切実な願いから誕生しました ～

向南幼稚園は昭和24年に向南学園の中に設立されました。第二次大戦の混乱の中で放任同然だった幼児を何とかしなくては、という学園の創設者、田中泰祐前理事長の願いと、地域や行政の要請が一致して誕生しました。それ以前に練馬区にあった幼稚園はたったひとつでしたから、区内で2番目に歴史の長い幼稚園ということになります。

～ 手づくりの保育を続けます ～

この幼稚園が長年に渡り守ってきたこと。それは、既製の教材を使わずに、遊びや活動を子ども達と保育者が力を出し合い創り上げるということです。運動会や発表会の出し物に、出来合いの台本や振付けはありません。皆が一緒になって考えます。子ども達の好きなことや、生活や遊びの中で生まれた興味から意欲を育てるという、幼児教育の原点を大切にすることが、芸術教育から出発したこの幼稚園の伝統です。

作ること、表現することの大好きな子どもになってほしい。そのために、次のようなことを行なっています。

自由さ、たっぷりとした時間、空間、きめ細やかな保育

子どもにとって遊びが大切とは誰もが口にすると思いますが、現代の子ども達は本当に遊べているのでしょうか。子どもの創造力が湧き上がる“ほんもの”の遊びができるよう、たっぷりとした時間・空間を用意し、熱意に満ちた保育者がおおらかに、しかも注意深く一人ひとりを受け止め、見守ります。本園は手厚い保育者の配置をし、保護者の方々との交流を大切にしながら、きめ細やかな保育を行なっています。（保育見学：年3回　個人面談：年2回）

自然や造形、集団の遊びが心身の発達の基礎に

飼育や栽培、遠足での川遊び、虫捕り等、子ども達にとって自然はまたとない友達です。園舎の裏道や中庭には雑草が生え、夏には虫さがし探検の絶好のポイントになります。3か所の砂場では、冬でも水を使ったスケールの大きな泥んこ遊びが行われます。室内でも、様々な素材を使って描いたり作ったりの造形遊びが盛んです。子ども達の心身は、こんな時いきいきとめまぐるしく活動しているのでしょうか。楽しいから夢中になる。友達と一緒にだと、もっと楽しい。このことが、人間関係を築く力、社会性、言葉、運動、情緒など、全ての領域の発達に直結しています。

力いっぱい全身で活動を

ともすれば、自らで考え手を動かさなくても物事が勝手に進んでいく現代の生活ですが、だからこそ全身を力いっぱい使った遊びや、多様な動きを試せる活動こそなくてはならないと考えています。幼児期は、物理的にも精神的にも、試行錯誤や手応えを得る経験が欠かせません。大工さんになって木の家を作ったり、ラグビーごっこをしたり、ジャングルジムや滑り棒に挑戦したり。集中力や忍耐力も遊びながら身につきます。力強い活動も、この幼稚園の得意技です。

保護者の皆さんも保育にご参加ください

保護者の方が子ども達の生活や活動に関心をもち温かな眼差しを向けることが、集団生活への前向きな気持ちや自主性の育ちには欠かせません。本園では、保護者の方の『保育者体験日』を設け、一年に一度お子さんのクラスで担任のお手伝いをしながら、家庭や行事の際とはまた違った普段の姿をご覧いただき、好評をいただいております。

自分で自分を幸せにしていける力

子どもも大人も、一人ひとり違う個性や特性、輝きをもっています。多様性を理解し認め合うことができる柔軟な心の土壌は、乳幼児期に耕されはじめます。互いを尊重する豊かな成長、発達ができるよう、様々な友達とかかわり合える保育環境づくりに努めております。そして、変わり続ける社会の中で『自分で自分を幸せにしていける力』を育みたいと考えています。